

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ひかり		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・少人数の利用のためスペースは確保されている。 ・読書やお絵描きを行うスペースと、動くことのできるスペースを分けて使用している。	限られたスペースではありますが、工夫して広く活動できるよう配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・利用人数に対して十分な職員配置ができています。 ・子どもの状況に応じて1対1の対応ができるよう体制を整えている。	職員は適切に配置されています。活動によっては1対1の対応ができるよう体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・段差はなく行動が制限される場所はない。 ・利用児の特性により環境整備を行っている。	在籍されているお子様の特性に状況に合わせて、その都度環境整備を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・日ごろから衛生管理に留意しリラックスできる場を提供している。 ・消毒作業を定期的に行い清潔さを保っている。	毎日の清掃を行うことで事業所内の清潔を保っています。また、活動に合わせた環境を整え、換気や加湿も適宜行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・クールダウン等で使用できる部屋を確保している。 ・仕切りを設け部屋を区切ることで落ち着くことのできる空間を作っている。	賑やかな環境が苦手なお子様には個室で過ごすよう促したり、気持ちが不安定になったときには落ち着くことのできる場所を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・業務改善委員会を設置し、気づいたときに意見交換ができる環境を整えている。 ・常に職員間で話し合い、情報共有をしている。	・今年度よりグループ全体として業務改善委員会を設置しています。その中で、各事業所の意見を持ち寄り改善につながるよう話し合いを進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年評価アンケートを実施している。 ・評価表を基に振り返りを行い、より良い支援につながるようにしている。	・年一回、保護者向け評価アンケートを配布し保護者様よりご意見をいただいています。アンケートでのご意見を参考に事業所の業務改善やより良い支援に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的な管理職との面談を行っている。 ・意見が言いやすい雰囲気づくりができています。 ・会議で意見を出し話し合っている。 ・会議等で出た意見を各委員会に議題として持って行っている。	会議等で課題や意見を出し合い、その内容を話し合うことで業務改善に繋がっています。また管理職による、職員個人面談を年数回も行っており、意見等を伝えられる場があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者による外部評価は行っていません。	現在、他機関による第三者評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員のスキルアップのため虐待防止、支援方法について等の研修を内外部含め行っている。 ・研修に参加する機会がある。	年に数回、社内で開催する研修のほかに、外部で行われている様々な分野の研修に参加することで、職員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・5領域をバランスよく取り入れながら、支援プログラムを作成している。 ・日々のかかわりの中で必要な支援を話し合い、適切な支援プログラムの作成に努めている。	適切に支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・児発管が利用者、保護者との面談を行い作成している。 ・ニーズや課題を聞き、会議の中で分析したうえで計画作成をしている。	個別支援計画を作成する際には児発管が面談を行い、本人及び保護者様のニーズをお聞きしています。その後、お聞きした意向をもとに職員間で課題分析をし計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・評価会議を行い職員全体で検討している。 ・必ず評価会議の中で、職員が分析し共通の理解のもと支援が行われるようにしている。	計画作成時には、児発管のみではなく職員全体で話し合い課題の分析をしています。そうすることで共通理解が深まり日々の支援にも役立っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・月に一度支援会議を行い、共通認識のもと統一した支援を行えるようにしています。 ・職員全体で話し合う場を設けている	日々の個別支援記録は、個別支援計画に沿った記録となるため、その内容を共有することで支援計画を意識したかかわりができるようになっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・共通のアセスメントシートを使用している。 ・子どもの状況を把握できるように支援記録を用い、気づいたことは日々話し合えるようにしている。	全事業所統一されたアセスメントシートを使用しています。また、日々の行動を記録に残すことで状況を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに基づき支援内容を設定している。 ・長期、短期での目標を設定し支援内容を検討している。	児童発達支援ガイドラインに基づいた個別支援計画を作成し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・レク担当、職員で話し合い立案している。 ・レク会議を開き職員間で話し合っプログラムを立てている。	毎月、担当者がレク案を提案し、それをもとに全体でプログラムを組み立てています。また、年間を通して取り組む活動については、スケジュールを組み進めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・レク会議でバランスをみながら計画をしている。 ・サッカー教室や季節の制作は毎月行っているが、それ以外は固定化しないよう工夫している。 ・SNSを活用し新しいものを取り入れている。	毎週末に、次週のレク会議を行うことでプログラムを見直し、活動が固定化しないよう進めています。今後も様々なツールを活用しながら日々、新しい活動を取り入れていきたいと思っています。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性に合わせた主眼を作成し支援にあたる。 ・集団と個別の両面の視点から支援内容を計画に取り入れている。 ・利用人数が少ないため、集団活動が難しい日がある。 	個別課題、集団活動での課題、両方の視点から支援内容を組み合わせ個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝ミーティングを行い、昨日の振り返りやより良い支援方法について話し合っている。 ・朝の打ち合わせでその日に行うことや気になったことを話し合っている。 	毎朝行うミーティングの中で、その日の役割分担や支援内容を確認する時間を確保しています。
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後や、翌日のミーティングで共有している。 ・支援終了後に打ち合わせができないときは翌日の朝打ちで共有している。 ・その日があったこと、気づいたことを共有している。 	支援終了後に職員が揃うことが難しいときは、翌朝の打ち合わせの中で支援の振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援記録を記入し日々の支援に役立てている。 ・その日のうちに個別支援記録を入力し残している。 ・支援記録は毎日細かく記入している。 	支援終了後に個別支援記録を記入し、支援内容の検証、改善に繋げています。職員間で話し合う時間を設けることで日々の様子を様々な角度から共有することができています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月毎に計画に見直しを行っている。 ・6ヶ月以内の見直しの必要性についても職員間で検討している。 	現在は6ヶ月毎に、本人及び保護者様と面談させていただき個別支援計画の見直しを行っています。また、6ヶ月以内であっても必要に応じて見直しを行う場合もあります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加している。 ・児発管が参加し情報共有、情報提供を行っている。 	・主に児発管が参加し情報共有をしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や保健センター、保育園や学校等の関係機関と連携し統一した支援ができるよう情報共有をしている。 	医療機関とは、ひかりでの様子をお手紙で渡したり、受診時に同行し直接お話しさせていただくこともあります。また、各関係機関と連携を深めることで日々の支援をより円滑に進めることができています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園との併用がある利用児について、電話や訪問等で情報共有を行っている。 ・併用先に見学に行くなど、連携を図っている。 ・保育園や幼稚園の見学に同行し、支援の必要性やその他の情報を共有している。 	保育園や幼稚園と併行利用をしている児については、支援の必要性等を話し合いながら連携を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が会議等へ出席している。 	美唄市が開催している推進会議に参加し、資料の提出及び各学校への引継ぎを行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・通院同行等で助言を受ける場合もある。 ・必要に応じてコンサルテーションを依頼する機会がある。 	必要な際には連携を図り、助言をいただける体制を整えています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の交流日に一緒に参加することもある。 ・地域での活動はできていないが、「ひかりまつり」等を通し地域の方たちと交流できる機会も作ってきたい。 	個別に交流会に参加することはありますが、全体での活動へ参加するなどの交流はできていない状況にあります。今後は、各園と連携し交流できる機会を検討していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことでも気になることはお伝えし、共通理解を持てるよう配慮している。 ・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝えている。 ・LINE等を使って伝えることもある。 	送迎時や電話、LINE等を使って話をする機会を設けています。日々のお子様の様子を伝えるとともにご家庭での様子も伺い共通認識のもと支援にあたっています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行っていない。 ・個別に相談、アドバイスは行っている。 ・勉強会等への参加の機会を作り声をかけている。 	事業所ではプログラムの提供はしていませんが、参加できる研修等のお知らせをしています。また、専門的なものではありませんが個々の特性を捉えたいうえでのかわりや子育てに関するアドバイス等をお伝えすることができています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・見学や契約時に説明している。 	運営規定、利用者負担額等は契約時に説明しており、支援プログラムについてはHP上で公表しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に聞き取りした情報を参考に作成している。 ・計画作成時に本人及び保護者様と面談することで意向を確認している。 	本人及び保護者様と面談をする機会を設けることで、意向を確認し尊重された支援計画を作成するようにしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を示しながら支援内容について確認いただき、同意を得たうえでサインをいただいている。 ・丁寧に説明を行っている。 	本人及び保護者様と面談を行う中で、支援計画を読み合わせながら丁寧に説明し同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・電話や、必要の際には面談を行い丁寧に面談に応じるよう努めている。 ・保護者様と共通の理解のもと支援にあたっている。 ・電話や来所、ご家庭への訪問での相談にも応じている。 	相談を受けた際には、必要に応じて面談の場を設けたり電話でお話しさせていただいたりしています。場合によってはご家庭での相談にも応じています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年1.2回、保護者交流会を開催している。 ・父母会は立ち上げていない。 ・家族で参加できる行事を開催している。 	現在、父母会や保護者会といった活動は行われておりません。系列事業所で開催される保護者交流会の案内を配布させていただいています。また、イベントを通して保護者同士の交流が図れるよう企画しご参加いただいています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・相談、申し入れがあったときには迅速に対応できるよう職員間で検討、対応をしている。 	相談を受けた際には、必要に応じて面談の場を設けたり、電話でお話しさせていただいています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、お便りを発行している。 ・インスタグラムにてレクリエーションの様子を配信している。 	定期的にお便りを発行し情報をお伝えしています。行事の案内や事業所でのお子様の様子等は写真を用いて発信しています。また、事業所でのレクリエーションの様子はインスタグラムを活用し配信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携する場合は、事前に同意を得ている。 ・職員ひとりひとりが気をつけている。 ・十分留意している。 	全職員が細心の注意を払っております。また、関係機関との連携以外は知り得た情報が洩れることがないよう徹底しています。
保護者への説明等	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・書面で伝達するだけではなく期日が迫っていたり、重要度が高いものは直接電話でお伝えしている。 ・特性に合わせて、スケジュールを個別にホワイトボードに提示して説明をしている。 	個々に合わせ、丁寧な情報伝達を心がけています。今後も正確な情報伝達や意思疎通に向けて様々な方法を検討していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りなど、今年度は招待できていない。 ・必要に応じてチラシの配布等を行っている。 	町内会の解散もあり、行事等に参加する機会はなくなっています。ひかりで開催する「ひかりまつり」等にお誘いするなどひかりの存在を知ってもらえる機会を作っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でマニュアルを確認している。 ・嘔吐を想定した訓練や不審者への対応訓練も実施している。 ・毎月行っている避難訓練の様子をお便りで配信している。 ・委員会が中心となりマニュアルの見直しも行っている。 	各マニュアルは全事業所共通のものを作成し職員間で周知しています。保護者様へのマニュアルの周知はしていませんが、感染症の情報提供や避難訓練の実施状況など毎月のお便りや随時配布されているレターでお知らせしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)を策定している。 ・毎月一回、避難訓練を行っている。(火災・地震・風水害・台風・不審者対応・雷害・感染症(嘔吐等)各想定) 	毎月様々な災害を想定し避難訓練を実施しています。不審者対応訓練では警察に、火災通報訓練では消防に立ち会っていただくことでより実践的な訓練ができています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にお子様の状況を確認し、職員間で共有している。 ・発作時の対応も確認し、保護者様と対応方法を共有している。 	契約時の面談や、新年度にお配りしている利用調査票に記入していただくことで確認し、状況の把握をしています。いただいた情報につきましては職員間で共有しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーの有無と対応方法について確認している。 ・一覧表を作成し、見えるところに掲示している。 	アレルギーがあるお子様に関しては、保護者様との面談で確認しています。必要な際には医師の指示書に基づき対応していきます。また、一覧表を掲示し共有することで誤食を防ぐことができるよう対策をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に必要な研修や訓練を実施してお子様や職員の安全管理を行っている。 ・環境の点検を行っている。 	安全な環境が保てるよう努めています。また、委員会に参加することで安全管理への意識を高めています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず連絡が取れる方法を保護者と決めている。 ・緊急連絡簿を作成し、事務室、フロアに常備している。 	連絡体制については、各家庭より第3連絡先までお知らせいただいています。連絡方法等については保護者様と確認しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を全スタッフが記入する仕組みを整えている。 ・職員全体で共有、検討し再発防止に努めている。 	ヒヤリハットについては、その都度報告書を記入し職員間で検証および共有をしています。今後も大きな事故を未然に防ぐことができるよう日々の振り返りを大切にしていきたいと思えます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年4回事業所内で虐待防止に関する研修をしている。 ・外部の研修に参加している。 	定期的に研修を行い虐待防止に努めています。また、外部での研修にも積極的に参加し職員間で伝達をしています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に記載し、同意を得ることになっている。 	現在、身体拘束を行う必要があるお子様の利用はありません。必要な場合は個別支援計画に記載するほか、本人及び保護者様に対して説明し同意をいただきます。	